TOSHIBA

株主のみなさまへ

第166期事業報告書

2004.4.1～2005.3.31

特集

東芝グループ130周年

130 130th Anniversary for your No.1

東芝グループは、今年130周年。 私たちのすべては、あなたの満足のために。

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。このたび、代表執行役社長に就任いたしました西田　厚聰（にしだ あつとし）でございます。これまでの一連の構造改革を加速し、持続的な成長と利益創出に向けて俊敏かつ果敢に取り組んでまいりますので、前任の岡村同様、温かいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、2004年度（2004年4月から2005年3月まで）の事業概況等につきましてご報告申し上げます。

全体の概要

当期は、高い成長性と安定的な収益性を兼ね備えた企業グループを目指して事業戦略を展開した結果、売上面ではデジタルプロダクツ部門、電子デバイス部門、社会インフラ部門、家庭電器部門のいずれもが増収となり、連結売上高は前期比2,566億円増加し5兆8,361億円になりました。

損益面ではデジタルプロダクツ部門は大幅な増益となったものの、電子デバイス部門、社会インフラ部門、家庭電器部門は前期を下回りました。この結果、連結営業利益は前期比198億円減少して1,548億円になりましたが、当期の環境対策費用や前期の厚生年金基金代行返上益による一時的影響を除きますと全社及び社会インフラ部門は実質的に増益となっています。

連結税引前当期純利益は前期比344億円減少し1,106億円になりましたが、連結当期純利益は前期比172億円増加して460億円になりました。1株当たり連結当期純利益も前期比5円36銭増加し14円32銭になりました。

主要事業の概況

デジタルプロダクツ部門では、パソコン事業、磁気ディスク装置、液晶テレビ等のデジタルメディア事業、デジタル複合機等の流通・事務用機器事業が増収となり、携帯電話事業は輸出の減少により横ばいとなりましたが、部門全体では増収となりました。損益面では、携帯電話事業の国内売上の伸長、パソコン事業の大幅な収益改善により、記憶装置（ストレージデバイス）の悪化はあったものの、部門全体では増益となりました。

電子デバイス部門では、半導体事業、液晶ディスプレイ事業が増収となり、ディスプレイ・部品材料事業がブラウン管、リチウムイオン電池の生産終息により大幅な減収となりましたが、部門全体では増収となりました。損益面では、液晶ディスプレイ事業は好調に推移し、半導体事業もメモリが引き続き高い利益水準で推移したものの、下半期に入りデジタル家電の在庫調整等の影響を受け減益となり、部門全体では減益となりました。

社会インフラ部門では、発電プラント等の電力・社会システム事業、電波システム、伝送システム等の社会ネットワークインフラ事業、マルチスライスCT装置、超音波診断装置等の医用システム事業、昇降機事業が増収となりましたが、受注物件を厳選したソリューション事業は減収となりました。この結果、部門全体では増収となりました。損益面では、社会ネットワークインフラ事業、ソリューション事業、医用システム事業が好調でしたが、環境対策費用の計上や前期に計上した厚生年金基金代行返上益の一時的影響により、部門全体では減益となりました。

家庭電器部門は増収となりましたが、冷蔵庫、洗濯機

等の価格低下や材料費の高騰により、損益は悪化しました。

今後の方針

当社グループが市場における競争を勝ち抜いて持続的成長を実現していくために、次の2点を強力に推進してまいります。

一つは、市況の変化に柔軟に対応できる安定した収益基盤を確立していくことであり、低採算事業の改善を推進するとともに、コスト構造の改革を進めます。

もう一つは、更なる成長力の強化であり、成長事業の一層の強化、差異化商品の市場投入、海外事業の強化を図ります。映像事業を新たな収益の柱とすべく引き続き強化するとともに、差異化商品については約110品目を戦略商品として選定し、2007年までを目途に市場に投入する計画です。また、5年ないし10年後を見据えて成長の糧となる商品やサービスを描出し、必要な技術の開発に取り組んでいきます。既にAVノートパソコン「Qosmio（コスミオ）」を発売し好評を博していますが、今後とも次世代DVDや、キヤノン（株）と共同開発した次世代薄型ディスプレイパネル「SED」を搭載したテレビ等、当社グループならではの商品を順次市場に投入していきます。市場開拓と最適地生産の観点から海外事業も積極的に展開し、当社グループの主要事業領域であるデジタルプロダクツ、電子デバイス、社会インフラの3部門のグローバルな競争力の強化を図ることにより、海外売上高比率50%を目指します。

当社グループが持続的な発展を続けるためには、社会に対し積極的に貢献し、企業の社会的責任（CSR）を果

たすことにより、社会からの信頼を獲得していくことが必要不可欠です。当社グループは引き続き法令遵守、人権尊重、環境保全、社会貢献等のための活動を推進していくとともに、男女共同参画社会実現への取組みを加速させます。

当社グループは、2005年7月に創立130周年を迎えます。これを機に、新しい社会価値の創出と適正な利潤の確保という当社グループの使命を再認識し、今後ともその実現に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2005年6月

代表執行役社長　西田厚聰

フェア・ディスクロージャーへの取組み

当社は、株主及び投資家の皆様への会社情報の適時、適切な提供について真摯な姿勢で臨むことを宣誓し、上場証券取引所へ宣誓書を提出いたしました。

適時開示に関する社内体制

当社は、お客様、投資家、地域社会等から正しい理解と信頼を得るため、企業情報を適時、適切に開示することを基本方針としています。適時開示については適時開示手続規程を制定し、具体的な業務分担を定めています。

財務部、広報室、法務部等の関係部門がそれぞれの立場で開示資料を作成、検証することにより、内部牽制機能を充実させ、内容の適正さを確保することとしています。また、各関係部門と法務部門とで二重に確認することにより、確実な適時開示を行うよう努めています。更に、可能な限り早期に決算発表を行うべく最善の努力を払っており、原則として各決算期後1か月以内に決算発表を行うよう努めています。

なお、上記に加え、当社は「リスク相談ホットライン」を設け、法令違反の疑いのある行為（会計に係るものを含む。）について、誰でも法務部又は社外弁護士に直接情報提供できる仕組みを整備しています。

東京証券取引所「第10回ディスクロージャー表彰」受賞

当社は、東京証券取引所の「平成16年度上場会社表彰」において「ディスクロージャー表彰」を受賞いたしました。

決算短信の「経営の基本方針」でCSRへの積極的な取組みなど、事業活動以外の活動内容にまで言及している点や、終了した中期経営計画についての評価、新たな中期経営計画についての具体的な目標数値が記載されている点が、ディスクロージャーに対する真摯な姿勢として認められました。また、事業報告書やCSR報告書、ホームページの内容も充実していると評価されました。今回の受賞を励みに、今後とも公平な情報開示に努め、より信頼される企業グループを目指してまいります。

※「ディスクロージャー表彰」は企業内容等を適時、適切に、投資者に分かりやすい形で開示しているなど、ディスクロージャーに積極的に取り組んでいると認められる会社を毎年1回表彰する東京証券取引所の表彰制度です。

※ ディスクロージャー：情報開示

特集

2005年、130周年を契機に新たな飛躍をします。

「快適」

いつも笑顔のある快適で
こころ豊かな暮らしを演出する
ライフエレクトロニクス

「安心と安全」

130年間積み重ねてきた高い信頼性と、
革新的な技術を生み出し続けるDNA

130th Anniversary

「驚きと感動」

飽くなき探求心が生んだ
自然なまでの精緻で美しい映像と、
毎日を楽しくするユビキタスAVライフ

東芝グループは、2005年、創立130年目を迎えました。

1875（明治8）年、田中久重が東京・新橋にて東芝の前身となる「田中製造所」を創設（のちに「芝浦製作所」と改称）。1890（明治23）年には、もう一人の創業者といえる藤岡市助が「白熱舎」を創設（のちに「東京電気」に改称）。1939（昭和14）年、両社が合併し「東京芝浦電気（株）」が誕生します。二人の共通点はモノづくりにかけた“飽くなき探求心と情熱”。創業以来、東芝グループのDNAとして、現在もこの精神が受け継がれており、新しい技術を生み出す原動力になっています。

130周年を迎えた東芝グループのテーマは、「驚きと感動」「安心と安全」「快適」、そして「環境への配慮」。このテーマを胸に、今日まで培われた先人の叡智とたゆまぬ努力に改めて敬意を表し、2005年を新たな飛躍の年として、新しい商品・サービスを世界に向けてお届けしてまいります。

■ 田中久重（1799-1881）

現在の福岡県久留米市でべっこう職人の長男として誕生。わずか8歳で「開かずの硯箱」、14歳で「久留米絣に絵柄を入れる機械」を発明。21歳で自作のからくり人形を披露し、斬新な仕掛けが評判を呼び全国を興行。後に、和時計の最高傑作「万年自鳴鐘」や「報時器」、電信電話の基礎などをつくり、万能技術者、発明王として名を馳せた。

田中久重 肖像画
〔久留米市教育委員会所蔵〕

■ 藤岡市助（1857-1918）

山口県岩国市に誕生。27歳の時、アメリカでの視察旅行中、エジソンと出会う。1890（明治23）年、内国勧業博覧会において日本初の電車を出品し、電車普及に大きく貢献。同年「凌雲閣」（浅草十二階）に市助設計による日本初の電動式エレベーターが設置される。白熱電球の国産化に成功するなど、数多くの功績により「電気の父」と呼ばれた。

130th Anniversary

for your No.1

東芝グループは、今年130周年。　私たちのすべては、あなたの満足のために。

今年、東芝グループは創立130周年。この機会に私たちは、「次世代をリードする、力強い東芝」をテーマにしたキャンペーンを立ち上げました。スローガンとなるのは「for your No.1」。この言葉にはお客さまの満足度 No.1を目指していく決意と、お客さまにいちばん喜ばれる商品・サービスを、誰よりもはやくお届けしていきたいという熱意が込められています。いつも、お客さまから期待される存在であるために。未来を視野に入れた斬新な提案を次々と行っていくために。私たちはキャンペーン期間中、「for your No.1」を積極的に活用して情報発信するとともに、社会貢献活動も強化していきます。どうぞご注目ください。

※ホームページ「東芝130周年記念サイト」（http://www.toshiba.co.jp/130/）も、是非ご覧ください。

驚きと感動

より美しく、より便利になり、未来へ大きく前進した、デジタルの新世界がお楽しみいただけます。

イメージキャラクター、
松井秀喜さん
人々に「驚きと感動」を
お届けします！

Major League Baseball trademarks and copyrights are used with permission of Major League Baseball Properties, Inc.

■新しい視聴スタイルを実現した新コンセプト液晶テレビ

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ「ちょっとタイム“face”（フェイス）37 LH100」など、3機種を5月に発売しました。

テレビにHDD※を内蔵することで、時間の拘束を受けない新しい視聴スタイルを実現した当製品は、急な来客でも見たいシーンを見逃さない「ちょっとタイム」機能、いつでもリモコンのボタンひとつでニュース番組がチェックできる「今すぐニュース」機能を搭載。またテレビ画面に表示される電子番組表から録画したい番組を選ぶだけで簡単にハイビジョン映像の録画予約もできるなど、便利なテレビです。

さらに高画質映像を実現するデジタル処理システム「デジタル新頭脳“メタブレイン”」と、高輝度、広視野角のハイビジョン液晶パネルの採用により、高精細であざやかな映像をお楽しみいただけます。

※HDD：ハードディスク装置

ちょっとタイム“face”37 LH100

■PC技術と映像技術を併わせ持つAVノートPC

液晶テレビやDVDレコーダーなどのAV機能を持つAVノート PC「Qosmio（コスミオ）」シリーズの最上位モデル「Qosmio G20」を今春発売しました。

高画質化機能をさらに強化し、デザインも一新。高画質化システム「QosmioEngine」に、スポーツなど動きのある映像において被写体輪郭部のギザつき補正や、受信電波が弱い場合に発生する細かなノイズを抑える機能を追加し、さらなる高画質化を実現。臨場感のある音声と共に鮮明な美しい映像がご覧いただけます。さらに大容量HDDや最新テクノロジーの採用でPC性能も向上。さまざまな機能と共に、美しさと使いやすさを兼ね備えた「Qosmio」新シリーズは、まさにお客様に「驚きと感動」をもたらす商品となっています。

Qosmio G20

快　適

国産初の電気冷蔵庫、電気洗濯機の開発から75年。75年の研究の成果は、商品の基本性能を驚くほど向上させました。

■「ナノ光プラズマ」搭載で、きれいな冷気を実現した冷蔵庫

冷蔵庫開発75周年の記念商品として“ニオイをとっちゃう冷蔵庫”「鮮蔵庫」シリーズを発売しました。新開発の「ナノ光プラズマ」は料理や食品から出るニオイがまざりあう庫内の冷気を従来の約10倍の能力で脱臭・除菌して、食品の鮮度とおいしさを守ります。また部品の交換なく、脱臭能力を約12年キープします。このほか、使いやすく工夫されたドアポケット収納をはじめ、庫内や自動製氷機を清潔に保つ配慮もされています。さらに、環境に配慮したノンフロン設計、独自開発のパラレルエンジン（冷却制御方式）などで、省エネ性を向上。

夢の暮らしに大きく前進した冷蔵庫となっています。

GR-W41FA(XS)

イメージキャラクター、
国仲涼子さん
毎日の家事を楽しく「快適」に！

■次世代モーターS-DDエンジンでパワフルに進化した洗濯乾燥機

これまで騒音の問題などからタブー視されていた深夜や早朝の洗濯が、ドラム式洗濯乾燥機「ザ・フロントインドラム」の登場により可能になりました。

これは新開発モーター「S-DD（ダイレクトドライブ）エンジン」が、音・振動を抑えることで、洗い時30dB、脱水時42dB、乾燥時40dB※の低騒音を実現。また、高精度な回転制御やビッグなドラムによる強力なたたき洗いで汚れをしっかり落とします。さらにS-DDエンジンによる高速回転と、温風を加えるプリヒート脱水により、仕上がり時間も大幅に短縮。洗濯乾燥のスピードと節水で、洗濯8kg、乾燥6kgのドラム式洗濯乾燥機においては、業界No.1の省エネを実現しています（2005年2月1日現在）。

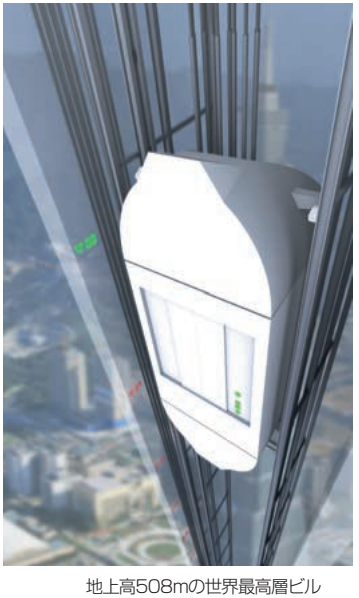
※参考：図書館／40dB、ささやき声／30dB

TW-130VB(W)

これらの商品は、創立130周年期間中に、特に戦略性の高い商品として発売される「T130商品」です。

安心と安全

130年間積み重ねてきた高い信頼性と、革新的な技術を、いつでもこれからも。



地上高508mの世界最高層ビル「TAIPEI101」に納入された東芝の「世界最高速エレベーター」

■安全性と快適さを追求した「世界最高速エレベーター」

東芝エレベータ（株）は、世界最高速となる分速1,010m(時速60.6km)のエレベーターを開発し、2004年12月に台湾台北市に誕生した世界最高層ビル「TAIPEI101」に納入しました。今回導入した主な新技術としては世界初となる、かご室内部の気圧を調整する「気圧制御システム」をはじめ、かごに取りつけたセンサーからの振動の情報をもとに、逆方向に重りを動かしてかごの水平方向振動を打ち消す「アクティブ制振装置（アクティブマスダンパ)」、かご走行時の昇降路内の空気とカプセル表面の圧力解析を行い、形状の最適化を図った流線型の「整風カプセル」などがあります。また、このエレベーターは英国ギネス社により「世界最高速エレベーター」として認定されました。

同社はこうした世界最高水準の技術開発とその応用により、高層ビル向けの超々高速エレベーターやダブルデッキエレベーター及び高速エレベーターの更なる販売活動を行っていくとともに、この技術を中低層ビル向けの規格形エレベーターなどに転用し、快適性・安全性を一層向上させ、今後もグローバル市場で積極的な事業展開を図っていきます。

■医療分野でも活躍。「乳房X線撮影装置 Mammorexシリーズ」

東芝メディカルシステムズ(株)は、乳ガンの早期発見に有効とされ近年注目されている「マンモグラフィ装置」を開発し、製品化しています。

同社は1970年代から当装置の開発に着手しており、以来、設計思想として、常に最新の技術を取り入れながら日本人女性に配慮した最適な撮影機能を実現すること、日本の医療環境に即した製品のラインアップを提供するという目標を掲げてきました。「乳房X線撮影装置Mammorexシリーズ」において、今後も安心・安全な診断ができるための工夫、加えて、女性の気持ちを理解した女性に優しい装置作りを目指していきます。

壮年女性のガン死亡率のトップとなっている乳ガン。同社は早期発見・早期治療へ導くため、製品の提供とともに、乳ガン検診啓発活動「ピンクリボン活動」を応援しています。

乳房X線撮影装置
Mammorexシリーズ

三井・東芝館

三井・東芝館、メインシアターでは未来の冒険「グランオデッセイ」を上映

■「愛・地球博」に参加し、「驚きと感動」を発信

9月25日まで開催される21世紀最初の大型国際博覧会「愛・地球博」。130周年を迎えた東芝グループも出展しています。会場では、世界初のエンターテインメントを「三井・東芝館」でご覧いただけるほか、創業者・田中久重が製作した和時計の最高傑作「万年自鳴鐘（万年時計）」の複製品を「グローバル・ハウス（オレンジホール）」で公開しています。

グローバル・ハウス
万年自鳴鐘（複製品）展示

国家プロジェクトで複製した「万年自鳴鐘（万年時計）」を出展。人類の貴重な遺産としてシベリアのマンモスやニュートンの望遠鏡などと共に展示しています。

■2006年6月開催のFIFAワールドカップ™を応援！

当社はFIFAの「オフィシャルITパートナー」として、FIFAワールドカップ™本大会をはじめとする、FIFAが主催する各大会の運営をサポートしています。18回目の開催となる2006FIFAワールドカップ™は、2006年6月9日から7月9日にドイツで開催されます。日本と韓国で共催された2002FIFAワールドカップ™に引き続き、IT機器を中心にサポートを行う予定です。ワールドカップを通して人々に「驚きと感動」を伝えていきます。

FIFA WORLD CUP GERMANY 2006
TOSHIBA
Official IT Partner

■ロックミュージカル「WE WILL ROCK YOU」にタイアップ

伝説的ロックバンド「QUEEN」の楽曲を全編に使用した話題のミュージカル「WE WILL ROCK YOU」に協賛して「驚きと感動」No.1を目指す「映像の東芝」をお客さまにPRしていきます。

●会期：2005年5月27日～8月24日　　●会場：東京・新宿コマ劇場

Topics 1

四日市工場内に300ミリウェハー対応新製造棟が完成

四日市工場

当社とサンディスクコーポレーション（本社：米国カリフォルニア州、CEO：エリ・ハラリ）は、当社のメモリ生産拠点の四日市工場（三重県四日市市）内に生産効率の高い300ミリウェハーに対応した新製造ラインの準備を進めておりましたが、2月21日新製造棟が完成し竣工式を行いました。

デジタル家電を中心とした幅広いアプリケーションへの搭載で需要が急速に伸長し、ビット成長が年2倍を超えているNAND型フラッシュメモリの増産と競争力強化を図るために新設。新製造棟では、90ナノメートル（ナノ：10億分の1）プロセス技術を用いたNAND型フラッシュメモリを2005年度上期末で月産10,000枚規模に立ち上げ、2005年度下期からは70ナノメートルプロセス技術の導入を開始、月産21,500枚規模に生産能力を増強いたします。さらに、2007年前半には月産40,000枚に拡大する予定です。

なお、さらなる生産設備の追加等によって、月産62,500枚までの生産に対応できるスペースを有しています。

Topics 2

石川工場内に低温ポリシリコン液晶製造工場を建設

東芝松下ディスプレイテクノロジー（株）は、低温ポリシリコン液晶の製造工場を石川工場（石川県能美郡）の敷地内に建設します。

中小型TFT※液晶パネル市場は、今後大きな成長が見込まれています。お客様の満足度を向上させる高付加価値製品をタイムリーかつ安定的に提供する能力を備えることが、世界最高水準の低温ポリシリコン液晶の量産技術を有する同社の使命であると考え、深谷工場、シンガポールにある子会社に続く、第3の低温ポリシリコン液晶製造拠点の建設を決定いたしました。

建屋と開発・製造設備合わせて500億円弱の設備投資により、本年12月に竣工、2006年4月からの稼働開始を目指します。さらにお客様のニーズに合わせ順次能力を拡張し、既存ラインと合わせ月産1,000万台（携帯電話用2.2インチ換算）を超える生産体制を確立する予定です。

※TFT：Thin Film Transistor（薄膜トランジスタ）

新工場完成予想図

Topics 3

3Gサービスが楽しめる第3世代携帯電話を発売

東芝製ボーダフォン向け
第3世代携帯電話「Vodafone 902T」

液晶ディスプレイは東芝松下ディスプレイテクノロジー（株）製

ボーダフォン（株）より東芝製携帯電話「Vodafone 902T」が発売されます。この携帯電話は、ボーダフォン（株）が提供する3G（第3世代）サービスに対応しており、回転2軸ヒンジ機構「アクティブターンスタイル」採用によりメイン液晶の向きを変えることが可能で、ビュースタイル、TVコールスタイル、カメラスタイルなど、さまざまな機能に適したスタイルで3Gサービスを楽しむことができます。また、オートフォーカス機能付きの1.92メガピクセルカメラや、QVGA（240×320画素）サイズのムービー撮影などハイスペック機能を搭載しており、3Gならではの大容量データ通信によって、高精細な画像を伝送することもできます。

第3世代加入者数が本年3月末で携帯電話全加入者の約35%※近くに達し、着実に普及が進むなか、本製品の投入により3G携帯電話の市場拡大と、当社製携帯電話端末のシェア向上を図っていきます。

※出典：（社）電気通信事業者協会　3月末データ

Topics 4

英国ギネス社が燃料電池システムを世界最小と認定

当社が昨年開発した、親指サイズの燃料電池システムが、英国ギネス社に、「世界最小のDMFC（ダイレクトメタノール燃料電池）」として認定されることになりました。当社では、昨年0.85インチHDDがギネス世界記録に登録されており、小型電子部品で2年連続のギネス社認定となります。

この燃料電池システムは、寸法が横22mm×縦56mm、厚さ4.5～9.1mmの親指サイズ。このサイズでありながら、100mWの出力を持ち、2mLの燃料でペンダント型オーディオプレーヤーなどの小型電子機器を最大約20時間駆動することができます。今後、仕様の最適化や信頼性の向上などの改善を実施し、2005年中の実用化を目指しています。

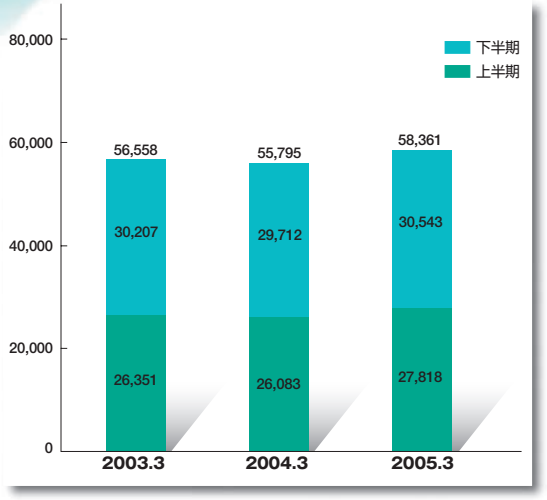
【ギネス世界記録について】
英国ギネス社が毎年発行している「ギネス世界記録」は、1955年に「ギネスブック」として発行を開始し、100カ国以上で販売されています。本書は収集した世界記録を子細に確認し、信頼できる記録だけを掲載しており、認定には大変な権威があります。

親指サイズでもハイパワー

連結決算ハイライト

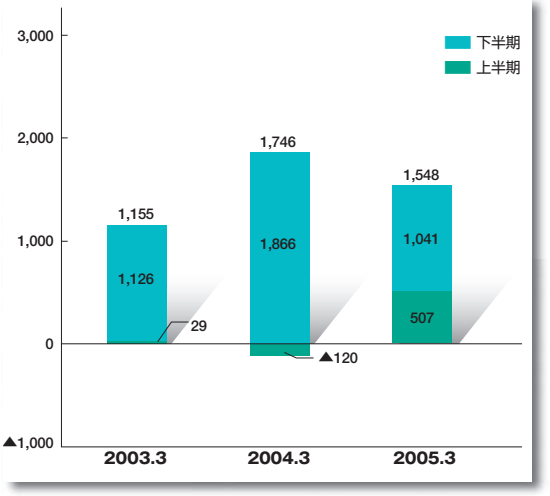
売上高

（単位：億円）



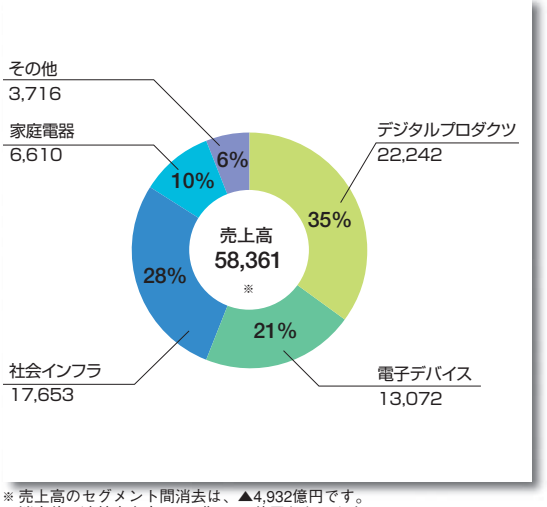
営業損益

（単位：億円）



部門別売上高比率（2005年3月期）

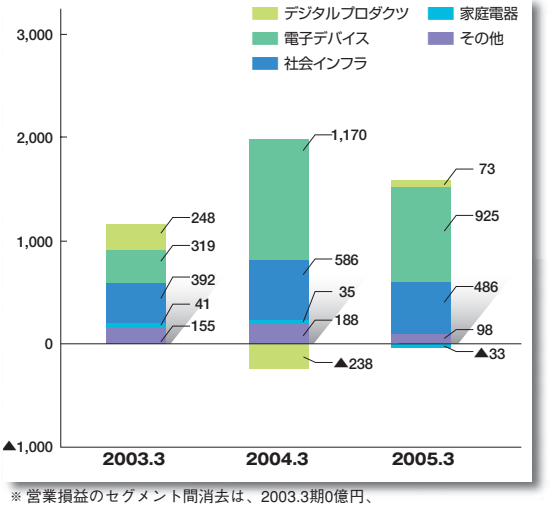
（単位：億円）



※ 売上高のセグメント間消去は、▲4,932億円です。
消去後の連結売上高は、5兆8,361億円となります。

部門別営業損益

（単位：億円）



※ 営業損益のセグメント間消去は、2003.3期0億円、
2004.3期5億円、2005.3期▲1億円です。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

POINT 1

売上増加に伴い、売上債権が増加しました。

POINT 2

半導体事業等での新規設備投資により増加しました。

POINT 3

収益の改善による利益剰余金の増加のほか、その他の包括損益累計額の改善により増加しました。

（単位：百万円）

科　目	当期（2005年3月31日現在）（A）	前期（2004年3月31日現在）（B）	（A）－（B）
資産の部			
流動資産	2,474,319	2,352,419	121,900
現金及び現金同等物	295,003	319,277	△24,274
受取手形及び売掛金	1,120,896	1,036,158	84,738
短期金融債権	0	17,271	△17,271
棚卸資産	649,998	629,044	20,954
その他の流動資産	408,422	350,669	57,753
長期受取債権	19,090	21,808	△2,718
長期金融債権	0	29,887	△29,887
投資等	387,457	389,292	△1,835
有形固定資産	1,164,183	1,118,245	45,938
その他の資産	526,363	550,549	△24,186
資産計	4,571,412	4,462,200	109,212
負債・資本の部			
流動負債	2,266,843	2,199,628	67,215
短期借入金	428,050	497,532	△69,482
支払手形及び買掛金	973,539	877,421	96,118
その他の流動負債	865,254	824,675	40,579
未払退職及び年金費用	581,598	601,566	△19,968
長期借入金及びその他の固定負債	762,757	770,217	△7,460
少数株主持分	144,707	135,799	8,908
資本	815,507	754,990	60,517
資本金	274,926	274,926	0
資本剰余金	285,736	285,736	0
利益剰余金	511,185	481,227	29,958
その他の包括損益累計額	△254,753	△285,894	31,141
自己株式	△1,587	△1,005	△582
負債・資本計	4,571,412	4,462,200	109,212
その他の包括損益累計額内訳			
未実現有価証券評価益	33,479	26,825	6,654
外貨換算調整額	△68,849	△79,290	10,441
最小年金負債調整額	△219,315	△234,283	14,968
未実現デリバティブ評価損益	△68	854	△922
借入金・社債残高	1,111,446	1,199,456	△88,010

連結財務諸表

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当期 自 2004年4月 1日 至 2005年3月31日 (A)	前期 自 2003年4月 1日 至 2004年3月31日 (B)	(A) − (B)
売上高	5,836,139	5,579,506	256,633
売上原価	4,296,572	4,075,336	221,236
売上総利益	1,539,567	1,504,170	35,397
%	26.4	27.0	△0.6
販売費及び一般管理費	1,384,760	1,329,584	55,176
営業損益	154,807	174,586	△19,779
%	2.7	3.1	△0.4
営業外収益	68,720	98,864	△30,144
受取利子	4,635	3,196	1,439
受取配当金	5,929	7,274	△1,345
雑収入	58,156	88,394	△30,238
営業外費用	112,960	128,409	△15,449
支払利子	21,749	20,832	917
雑損失	91,211	107,577	△16,366
営業外損益	△44,240	△29,545	△14,695
税引前損益	110,567	145,041	△34,474
%	1.9	2.6	△0.7
法人税等	55,944	102,237	△46,293
少数株主損益（控除）	9,247	4,708	4,539
持分法による損益	665	△9,271	9,936
当期純損益	46,041	28,825	17,216
%	0.8	0.5	0.3

POINT 1

前期比552億円増加の中に、厚生年金基金代行返上に伴う影響441億円を含んでいます。

POINT 2

有価証券売却益などが減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

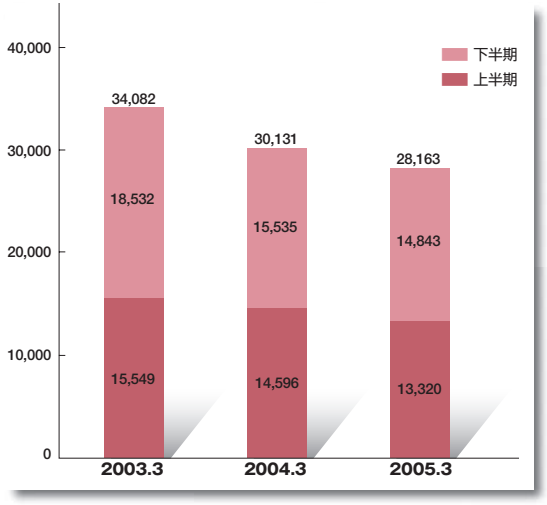
（単位：百万円）

科　目	当期 自 2004年4月 1日 至 2005年3月31日 (A)	前期 自 2003年4月 1日 至 2004年3月31日 (B)	(A) − (B)
Ⅰ.営業活動によるキャッシュ・フロー	305,533	322,662	△17,129
Ⅱ.投資活動によるキャッシュ・フロー	△243,106	△189,466	△53,640
Ⅰ＋Ⅱフリー・キャッシュ・フロー	62,427	133,196	△70,769
Ⅲ.財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,324	△132,733	40,409
Ⅳ.為替変動の現金及び現金同等物への影響額	5,623	△8,284	13,907
Ⅴ.現金及び現金同等物純増減額	△24,274	△7,821	△16,453
Ⅵ.現金及び現金同等物期首残高	319,277	327,098	△7,821
Ⅶ.現金及び現金同等物期末残高	295,003	319,277	△24,274

単独決算ハイライト

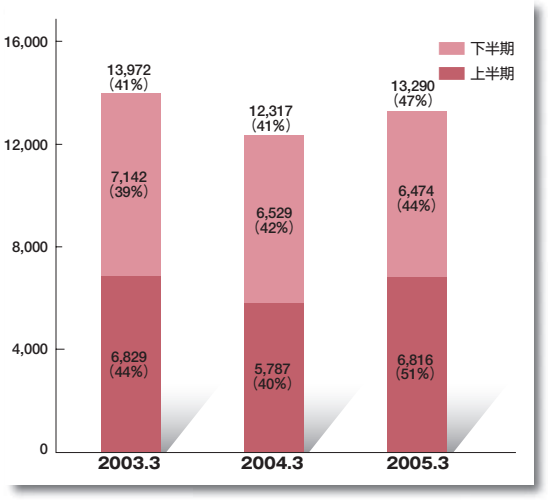
売上高

（単位：億円）



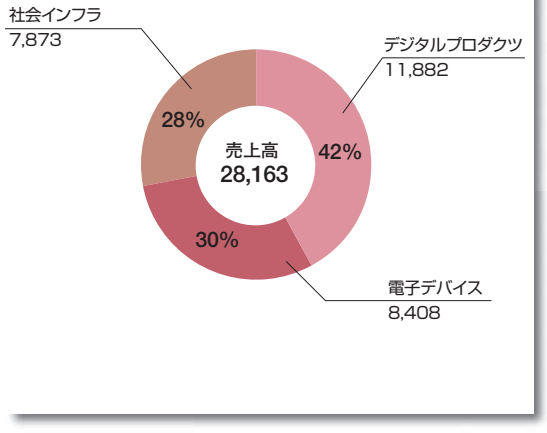
輸出高（輸出比率）

（単位：億円）



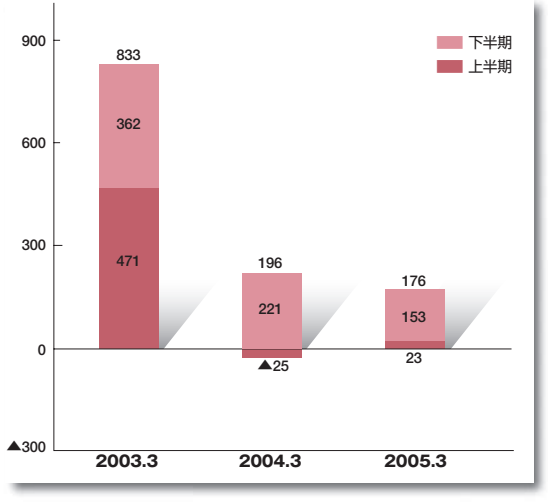
部門別売上高比率（2005年3月期）

（単位：億円）



当期純損益

（単位：億円）



単独財務諸表

単独貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当期（2005年3月31日現在）	前期（2004年3月31日現在）
資産の部		
流動資産	1,095,881	1,068,962
固定資産	1,547,300	1,518,759
有形固定資産	497,427	441,331
無形固定資産	39,227	36,185
投資その他の資産	1,010,645	1,041,242
資産合計	2,643,182	2,587,721
負債の部		
流動負債	1,110,718	1,089,727
固定負債	812,632	781,569
負債の部合計	1,923,350	1,871,297
資本の部		
資本金	274,926	274,926
資本剰余金	262,650	262,650
利益剰余金	164,124	162,584
その他有価証券評価差額金	19,717	17,267
自己株式	△1,587	△1,005
資本の部合計	719,831	716,424
負債・資本合計	2,643,182	2,587,721
借入金・社債残高	871,271	819,073

利益処分

（単位：百万円）

科　目	当期（2005年3月期）	前期（2004年3月期）
当期未処分利益	145,679	149,082
圧縮記帳積立金取崩額	355	310
プログラム等準備金取崩額	33	36
合　計	146,068	149,429
この処分は次の通りであります。		
利益配当金	9,646（1株につき3円）	9,650（1株につき3円）
特別償却準備金	4,524	5,289
次期繰越損益	131,897	134,489

単独損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当期 自2004年4月1日 至2005年3月31日	前期 自2003年4月1日 至2004年3月31日
経常損益の部		
営業損益の部		
売上高	2,816,317	3,013,164
売上原価	2,258,577	2,416,044
販売費及び一般管理費	504,171	556,814
営業損益	53,568	40,304
営業外損益の部		
営業外収益	60,330	76,871
営業外費用	59,978	63,985
営業外損益	351	12,886
経常損益	53,920	53,190
特別損益の部		
特別利益	32,645	60,799
特別損失	58,736	48,776
特別損益	△26,090	12,023
税引前当期純損益	27,830	65,214
法人税、住民税及び事業税	△2,554	△2,594
法人税等調整額	12,787	48,124
当期純損益	17,596	19,683
前期繰越損益	134,489	129,449
合併による未処分利益受入額	29	0
自己株式処分差損	4	50
中間配当額	6,432	0
当期未処分利益	145,679	149,082

社会・環境への取組み

● 東芝グループ総合環境効率2倍に向けて環境ビジョンを刷新

当社は、2005年3月に、東芝グループ環境ビジョンを刷新し、持続可能な社会の構築に向けてよりいっそう先導的な役割を果たしていくことを宣言いたしました。地球との共生を図りながら豊かな価値を創造していくことが「人と、地球の、明日のために」貢献することであり、「つくる」段階から、お客様が「つかう」、そして役割を果たした後に再び資源として「いかす かえす」まで、すべての事業プロセス、すべての製品で環境に対する取組みを展開していきます。

そして、グループの総合環境効率を2010年度までに2000年度の2倍にすることを環境ビジョン2010の達成目標として設定し、2010年度をターゲットとした9項目の具体的な行動計画を策定しました。これまでの行動計画から、グループ全体、すべての事業プロセスへ活動を拡大し、製品のライフサイクル全体を考慮した製品環境効率の向上と事業プロセス全体で「地球温暖化の防止」「資源の有効活用」「化学物質の管理」を進めることで企業活動と地球環境の両立を目指し、環境に配慮した経営を推進します。

＜東芝グループ環境ビジョン＞

● CSRに基づく東芝グループ調達方針を制定

東芝グループ共通の調達方針として、法令遵守や人権、環境への配慮を重視する企業との優先的な取引などを定めた「東芝グループ調達方針」を制定しました。

調達活動においては、1999年12月にグリーン調達ガイドラインを制定し、環境に配慮した製品づくりのため、環境負荷の小さい製品・部品・材料・原料の調達を推進しています。今回は環境への配慮に加えて「児童労働・強制労働の禁止」や「差別の禁止」「安全で清潔な作業環境」など、人権や労働への配慮をもとめるものとしています。

法令の遵守や人権、環境への配慮など、CSR（企業の社会的責任）の方針を、東芝グループのみならず、調達取引先を含めた生産のプロセス全体に拡大していきます。

※ 詳しい活動内容は、ホームページ「東芝の社会・環境活動（CSR）」（http://www.toshiba.co.jp/csr/）でもご紹介しています。

株主様アンケート結果のご報告（抜粋）

当社は、株主の皆様に企業活動を正しくご理解いただくために適時、適切な情報開示に努めておりますが、株主様との信頼関係をより確固なものにするためにはコミュニケーションの充実が必要であると考え、このたび、株主様アンケートを実施いたしました。

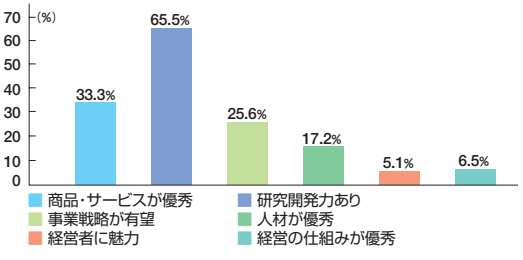
ご協力いただきました皆様へあらためて御礼申し上げますとともに、その結果（一部）を以下にご報告申し上げます。

皆様からいただきました貴重なご意見・ご要望を真摯に受け止め、今後の事業活動に活かしてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

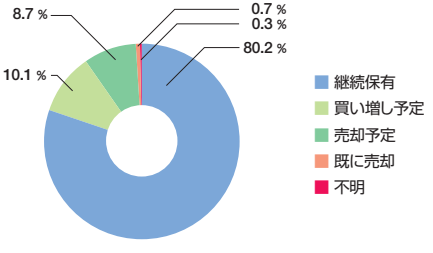
調査概要

1.調査対象　配当金を銀行振込みにしている株主様83,750名（2004年9月末現在）
2.有効回答数　3,500件（回収率：4.2%）
3.調査時期　2004年12月6日（月）～12月31日（金）

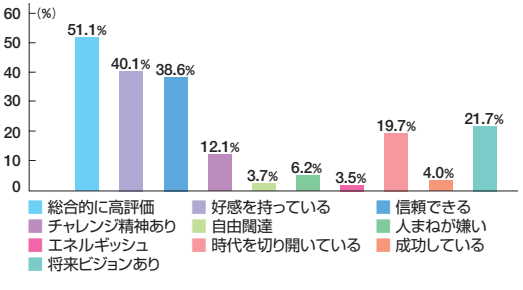
■ 当社をどのように評価されていますでしょうか？（複数回答）



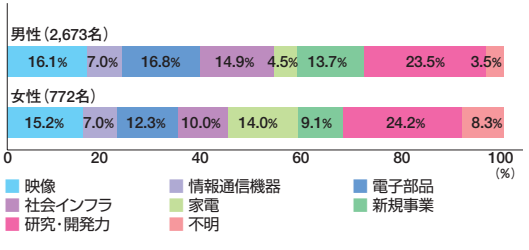
■ 当社株式について、今後どのような方針をお持ちですか？



■ 当社にどのような企業イメージをお持ちでしょうか？（複数回答）



■ どのような当社事業に投資魅力を感じますか？



■ その他にいただいたご意見、ご要望など

- 基礎的な技術に優れた会社だが、他社に比べて地味である。
- 先端技術及び製品開発についての新聞記事が多く見られる割に、業績及び株価への反映が足りない。
- 株主への配当（利益還元）を大事にして欲しい。
- 地味なイメージ、まじめさを感じるが「特にこれだ」という印象がうすい。

株式の概況

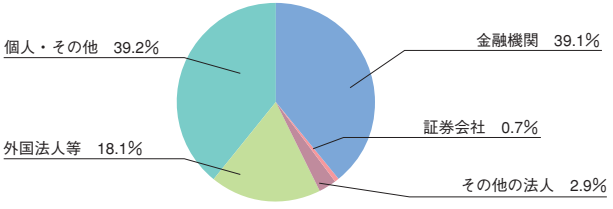
大株主

（2005年3月31日現在）

株主名	所有株式数（千株）	議決権比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行（株）（信託口）	219,248	6.8
日本トラスティ・サービス信託銀行（株）（信託口）	149,676	4.6
第一生命保険（相）	108,752	3.4
日本生命保険（相）	102,542	3.2
東芝持株会	56,842	1.7
（株）三井住友銀行	50,003	1.5
（株）新生銀行	48,961	1.5
日本興亜損害保険（株）	46,308	1.4
（株）みずほコーポレート銀行	41,443	1.2
三井住友海上火災保険（株）	36,952	1.1

所有者別株式分布状況

（2005年3月31日現在）



総株主の議決権数
3,188,960個
発行済み株式数
3,219,027千株

配当推移

	'95/3	'96/3	'97/3	'98/3	'99/3	'00/3	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3
年間配当金 1株当たり（円）	10	10	10	10	6	3	10	0	3	3	5

役　員

（2005年6月24日現在）

取　締　役

取締役会長　岡村　正
取　締　役　西田　厚聰※
中川　剛※
笠　貞純※
古口　榮男※
佐藤　芳明※
清川　佑二※
高木　利武※
飯田　剛史
松橋　正城
谷野　作太郎
鳥居　泰彦
橋本　俊作
清水　湛

※執行役を兼務する者

執　行　役

代表執行役社長　西田　厚聰
代表執行役副社長　中川　剛
笠　貞純
古口　榮男
佐藤　芳明
執行役専務　清川　佑二
木村　強
高木　利武
庭野　征夫
東　実
米澤　敏夫
執行役上席常務　宮本　努
新田　義廣
藤井　美英
執行役上席常務　能仲　久嗣
並木　正夫
室町　正志
執行役常務　小林　俊介
内池　亨
有信　睦弘
村岡　富美雄
田井　一郎
吉田　信博
森安　俊紀
不破　久温
小林　利治
横田　親廣
谷川　和生
執行役常務　渡辺　通春
佐々木　則夫
福間　和則

株式事務についてのご案内

決　算　期	3月31日
基　準　日	定時株主総会関係／3月31日 利益配当金支払株主確定関係／3月31日 中間配当金支払株主確定関係／9月30日 その他／予め公告する日時
公　告　方　法	下記ホームページに掲載する。 http://www.toshiba.co.jp/about/ir/
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
事務取扱所	**〒168 - 0063** **東京都杉並区和泉二丁目8番4号** **中央三井信託銀行株式会社　証券代行部** **電話(03)3323 - 7111（代表）**
取　次　所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
1単元の株式数	1,000株

お知らせ

株式に関する諸手続きについて

住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求等の株式に関する諸手続きにつきましては、左記の名義書換代理人あてにご照会ください。

また、配当金につきましては、銀行口座又は郵便貯金口座（通常貯金口座）への振込のご指定ができますので、ご希望の方は、左記名義書換代理人あてに配当金振込指定書をご請求の上、お申し込みいただきますようお願い申し上げます。

なお、住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求につきましては、名義書換代理人のフリーダイヤル及びインターネットのホームページで24時間受け付けております。

●フリーダイヤル
0120-87-2031

●ホームページアドレス
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株式会社 **東芝**

〒105-8001　東京都港区芝浦一丁目１番１号（東芝ビルディング）
TEL（03)3457-4511
東芝ホームページ　http://www.toshiba.co.jp
投資家情報ホームページ　http://www.toshiba.co.jp/about/ir/
（投資家情報ホームページは貸借対照表、損益計算書も掲載しています。）

この印刷物は、「再生紙」と環境にやさしい「植物性大豆油インキ」を使用しております。